



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R7年3月（一般用）

『あきらめない政治 ～ジャーナリズムからの政治入門』

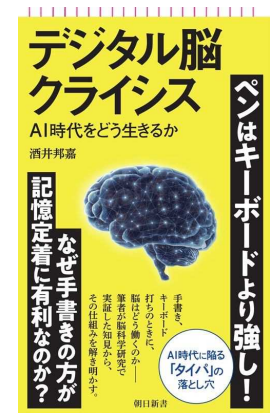
鮫島浩【著】/那須里山舎（2024/7）



政治ジャーナリスト、鮫島氏による「政治入門書」。政治を動かす主導権は、私たち有権者にある！他力本願にならず、私たち一人一人が政治について知り参加するために、今の政治についてわかりやすく解説する。

『デジタル脳クライシス ～AI時代をどう生きるか』

酒井邦嘉【著】/朝日新聞出版（2024/10）



タイパにこだわり、デジタル機器の便利さや楽さに依存すると、脳は衰えていく…。「紙の本VS電子書籍」「手書きVSキーボード入力」での記憶定着の差異など、さまざまな研究から「創造的な脳」を維持するための方法を探る。

『「ネット世論」の社会学～データ分析が解き明かす「偏り」の正体』

谷原つかさ【著】/NHK出版（2024/8）



ネットでは、多数派の意見に見えても実際とは違う？ネット上では批判の多い政党が選挙で勝利したり、不支持派が多いはずの人物が首長選挙で圧勝したり。なぜ、こうした現象が起こるのか？「ネット世論」を徹底解剖！

『子どもたち5000人に聞いた！学校で大切なこと～教育保健学から学校を再定義する』日本教育保健学会共同研究プロジェクト【編】/大修館書店（2024/8）



子どもたちは学校に何を求めているのか？「教育保健学の視点からみた学校の存在意義について」の研究報告書から、子どもの「からだ」と「心」について考察。真の子どもたちのための学校とは何かを考える。

『スポーツによる地域振興 ～その視点と具体的アプローチ』

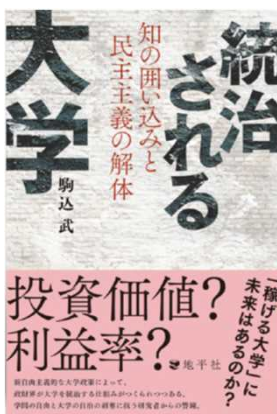
神成淳司/ 信朝裕行【著】/三修社（2024/11）



全国で広がる「スポーツによるまちづくり」。今、必要とされているのは、住民が主体となりスポーツと密接なつながりを持つことで、持続的な地域活性化を可能とする仕組み作りだ。企業や地域の声を通じた、地域政策への提言とは？

『統治される大学～知の囲い込みと民主主義の解体』

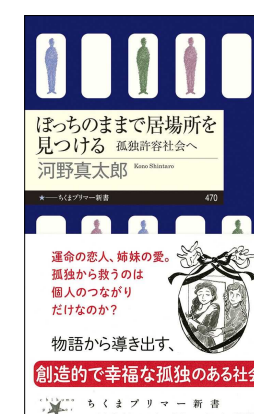
駒込武【著】/地平社（2024/10）



大学の「知」を囲い込む「改革」の実態。強行採決された2つの法案をはじめ、新自由主義的な大学政策で、政財界が大学を統治する仕組みが整いつつある。学問の自由と大学自治を破壊する「改革」にあらがう1冊。

『ぼっちのままで居場所を見つける～孤独許容社会へ』

河野真太郎【著】/筑摩書房（2024/10）



『アナ雪』のエルサは本当に孤独だったのか？孤独を救うのは個人のつながりだけなのだろうか？映画、マンガ、名著までを読み解き、良い孤独のある社会、孤独を許容する社会を想像。新時代を目指すカルチャー批評。

『盲導犬との絆、静かな感動～光を失った33人が自ら綴るエッセイ』

全日本盲導犬使用者の会【著】石黒謙吾【編】/ワニ・プラス（2024/10）



「いつも一緒に歩いたね」。視覚障がいの方と盲導犬との出会い、苦労、別れ、そしてかけがえのない思い出。創立30周年を迎える「全日本盲導犬使用者の会」の方が自らキーボードを打ち、リアルなエピソードを綴る。

▶「格差」に関する書籍

『ペアレントクラシー～「親格差時代」の衝撃』

志水宏吉【著】/朝日新聞出版 (2023/7)



日本に広がる「ペアレントクラシー(家庭の文化資本で人生が決まる)」。親の経済力と子どもの学力の相関関係は、年々高まりを見せている。そうってしまった経緯を分析し、教育公正の実現を目指す。

『体験格差』

今井悠介【著】/講談社 (2024/4)



習い事や家族旅行は贅沢？ 貧困、障がいなど、本人の努力では解決できない理由で大切な体験を奪われている子どもたちを救うために、子どもの権利を社会で支える方法を考え、格差に立ち向かう。

『女性はずなぜ男性より貧しいのか？』

アナベル＝ウィリアムズ【著】/晶文社 (2024/5)



女性は、男性より貧しい生活を送らねばならないのは仕方ない？ 収入格差による生活費や老後資金の格差、生理用品購入費用など、女性にとって経済的に男性より不利な点は多い。経済の男女平等のための具体策に迫る。

『介護格差』

結城康博【著】/岩波書店 (2024/8)



今のままでは団塊ジュニア世代以降は、お金や人に恵まれた一握りの人しか安心して介護を受けられない…。ヘルパーの公務員化や介護報酬引き上げ、新たな公費投入など、介護政策や社会保障制度の改革を提案する。



図書広報委員がおすすめする一冊

『「多様性時代」の人権感覚～事例に学ぶ人権ノート』



著者：澤田省三/花伝社
(2024年7月)



紹介者：加賀谷 富士子 委員
リベラル群馬・伊勢崎市選出・3期

トランプ大統領が1月20日に第47代大統領に就任し、初日に政策の大転換を打ち出し、多様性プログラムやLGBTQの平等推進を掲げた前政権の施策を大統領令で撤回しました。長い時間をかけ獲得されたマイノリティーの権利が侵害されてしまうのではないかと、日本にどのような影響を及ぼすのか、不安に感じます。

今回おすすめする本は『「多様性時代」の人権感覚～事例に学ぶ人権ノート』です。「ジャニーズ問題」を解く、同性婚とパートナーシップ、選択的夫婦別姓、共同親権など、ニュースで耳にする事例を挙げながら人権問題を紐解くので、興味深く読み進めることができます。

不寛容な空気が広がりつつあっても、人権意識をアップデートしていきたいと、思いを新たにしている本です。

➡ 次号では、矢野 英司 副委員長におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課 (議会図書室)